

# 第20回

# 宗教倫理学会学術大会

*The Twentieth Conference of  
the Japan Association of Religion and Ethics*

大会テーマ

「心」から宗教倫理を問う  
—現代世界の問題状況のなかで—

Religious Ethics from the perspective of  
Kokoro (heart, mind, and spirit)

2019年10月12日(土) 9時 開会

京都大学 文学部校舎(2階) 第3講義室

p 研究発表 9:00 ~ 11:45

p 基調講演 13:30 ~ 14:30 (入場無料・申込み不要)

島園 進 (東京大学名誉教授、上智大学グリーンフケア研究所所長)

「慈悲と非暴力

—日本仏教の倫理思想の現代的理解のために—

p 公開シンポジウム 14:45 ~ 16:30

澤井 義次 (天理大学教授)

小原 克博 (同志社大学教授)

竹下 ルツジェリ アンナ (京都外国語大学教授)

司 会：高田信良 (龍谷大学名誉教授)

宗教倫理学会

— JARE —

Japan Association of Religion and Ethics

<http://www.jare.jp>

公開講演・シンポジウム 13:30～16:30

基調講演：島蘭 進

慈悲と非暴力

—日本仏教の倫理思想の現代的理解のために—

### 講師紹介

島蘭進：1948年生。東京大学名誉教授。上智大学・グリーンケア研究所所長。世界平和アピール七人委員会委員。『現代救済宗教論』（清土社、新装版2006年）、『国家神道と日本人』（岩波新書、2010年）、『日本仏教の社会倫理』（岩波現代全書、2013年）、『いのちを"つくって"もいいですか?生命科学のジレンマを考える哲学講義』（NHK出版、2016年）他、著書多数。

### 要旨

第二次世界大戦後、中村元は日本仏教の倫理思想を「慈悲」に集約して捉えようとした。これは和辻哲郎の仏教理解を踏まえるとともに、近代的な宗教観に相即しようとする意図のもとに提示されたものだった。しかし、そこにはプロテスタント的なキリスト教に強く影響された内面性重視の宗教観が作用していた。それは浄土教と禅を重視する日本仏教理解（鎌倉仏教優越史観）とも関わっている。近代的な宗教概念への批判が進み、公共空間における宗教の機能が見直されている現在、戒や僧伽や正法といった概念から仏教倫理を見直す必要がある。戒の中核にある不殺生を肉食への戒と過度に結びつけ、人間社会における倫理の基盤としての戒の理解が軽んじられてきたきらいがある。「アヒンサ＝不殺生」に「非暴力」の訳語があてられてきたことを積極的に捉え、不殺生＝非暴力と慈悲を結びつけることによって、日本仏教の倫理思想の理解を深めていくことができるだろう。



京都大学吉田キャンパス

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

文学部校舎

会場は2階  
第3講義室

主要鉄道駅	交通機関	乗車バス停	市バス系統 など	市バス経路	所要時間	下車バス停
J R または近鉄 京都駅から	バス	京都駅前 ・八条口	206系統	「北大路バスターミナル」行	約35分	百万遍又は京大正門前
			17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約35分	百万遍
			京大快速	「四条烏丸・京大病院・出町柳駅」循環	約35分	京大正門前
			hoop	「四条河原町・京大病院・京都大学前」循環	約40分	京都大学前
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	201系統	「祇園・百万遍」行	約20分	百万遍又は京大正門前
			31系統	「高野・岩倉」行	約20分	百万遍又は京大正門前
			17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約20分	百万遍
地下鉄 烏丸線 今出川駅から	市バス	烏丸今出川	203系統	「銀閣寺道・錦林車庫」行	約10分	百万遍
			102系統	「急行 出町柳駅・銀閣寺」行	約10分	百万遍
			201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍又は京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	206系統	「北大路バスターミナル」行	約15分	百万遍又は京大正門前
			201系統	「百万遍・千本今出川」行		
			31系統	「高野・岩倉」行		
京阪 出町柳駅から	徒歩	(東へ)			約15分	
	市バス	出町柳駅前	201系統	「祇園・みぶ」行	約5分	百万遍又は京大正門前
			203系統	「銀閣寺道・錦林車庫」行	約5分	百万遍
			102系統	「急行 出町柳駅・銀閣寺」行	約5分	百万遍
			17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約5分	百万遍